

取り組み紹介

【情報保障について】

1. 情報保障を行う際に検討すること

- ①同等性:きこえる子どもたちと同程度の情報を得ることができる
- ②同時性:きこえる子どもたちと同時に情報を得ることができる
- ③容易性:できるだけ楽に情報を得ることができる
- ④選択性:状況に合わせ、情報保障の方法が選択できる

2. 情報保障として実施していること

- 雑音や騒音の軽減を図り、音声がききとりやすい環境を用意する
 - ・ワイヤレス補聴援助システムを積極的に活用する
 - ・全ての教室の机やイスにテニスボールを付ける
- 手話通訳を実施する
 - ・朝会や集会など子どもたちが集合する場面では必ず実施する
- 文字で知らせる
 - ・入学式や卒業式など、きこえにくい子どもたちの座席の前にモニターを置き、話すことを表示する
 - ・給食時など、放送で話すことがある場合は、話す内容を書いた原稿を用意する
- 映像に字幕を入れる
 - ・集会や行事など、事前に撮った動画を各教室で見るときは必ず字幕を入れたものを使用する
(コロナ禍で、全校が集まり集会や行事をする機会が減り、事前にとった動画を各教室で見ることが増え、動画に字幕を付ける頻度が上がっている)

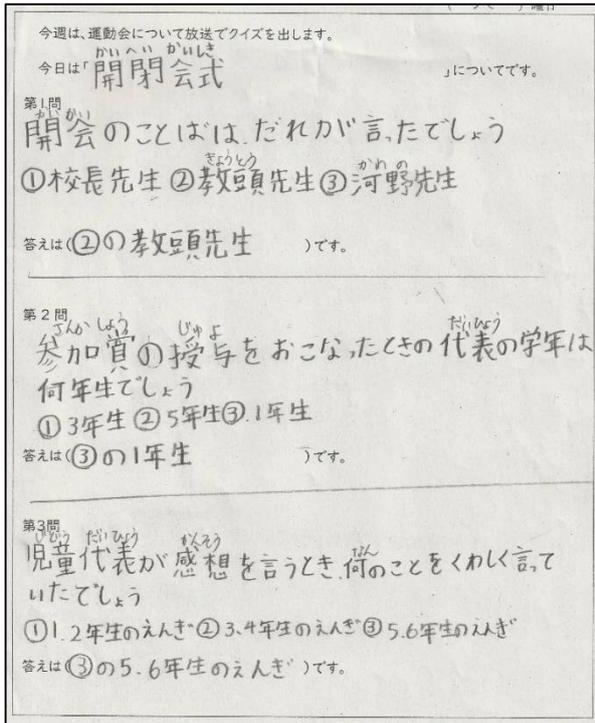
3. 情報保障の例:文字で知らせる

①運動会での情報保障

<p>【開会式】</p> <p>☆入場し、ならんたらプリントをポケットから出して見る</p> <p>1. 「開会のことば。」(教頭先生)</p> <p>「ただ今より、^{れいわ}令和4年度 北中道小学校 運動会を始めます。」</p> <p>2. 「校長先生のお話です。」:手話通訳を見る</p> <p>3. 「^{じどう ちか}児童、^{だいいょういんかい}誓いのことば。」(代表委員会)</p> <p>「今年も今までとちがう形ですが、それぞれの学年で もっている力を合わせ、この日のために ^{じゅんび}準備 をしてきました。今年のスローガンである『^{きょうりよく}みんなて 協力 し合えるスポーツ王になれる。パワァア!』に のっとり1年生から6年生まで 心を一つにして、思い出にのこる北中道運動会 になるようがんばります。」</p> <p>4. 「市歌、校歌を聞きます。」:べつのプリント <市歌、校歌プリント> 見る</p> <p>5. 「^{えんぎ}演技上の注意があります。」(河野先生)</p> <p>「今日も とてもあつくなります。水分 ^{ほきゅう}補給 をしっかりとしましょう。みなさんのトイレは、^{こうどう}講堂 のところと^{かんりさきょういんしつよこ}管理作業員室 横の2か所です。保健室横のトイレは、おうちの人が使うトイレです。^{こじん}個人走、^{だんたいえんぎ}リレー、^{だんたいえんぎ}団体演技のときは、マスクをはずしてもいいですが、友だちと ^{じどうせき}話はしません。^{こじん}児童席で応援をする時は、声を出しません。大きな ^{はくしゅ}拍手 で応援しましょう。今まで練習してきたことを全て出し切り思い出に のこる運動会にしましょう。」</p> <p>6. 「以上で開会式をおわります。」</p> <p>☆プリントをズボンのポケットに入れる</p>

- ・話すことだけでなく、対応の仕方を示す
- ・学校長の話は手話通訳をするなど、複数の情報保障の方法が体験できるようにする

②放送で話す内容を文字で伝える



- ・放送委員会が給食時に放送でクイズを出した時に使用したもの
- ・登校時に渡しておき、放送でクイズが始まる前に用意し確認する(クイズが始まることを知らせてもらう)

③入学式:話す内容をモニターに表示する



④映像に字幕を入れる



4. 情報保障を実施する時に重視すること

- 様々な情報保障の方法があることを体験して、知ることができるようにする。
- 状況に合わせて、どの情報保障の方法が分かりやすいか自分なりに判断できるようにする。
- 様々な情報保障の方法があることを知ったうえで、情報を得やすい方法を要望できるようにつなげていく。